令和6年度 全国学力・学習状況調査 指導方法等の改善計画

呉市立明德中学校
(明德中学校区)

全国平均値との差

	国語	数学
呉市教育振興基本計画〈指標〉	+5.0	+5.0
令和8年度	—	—
令和7年度	—	—
令和6年度	+8.9	+10.5
令和5年度	+13.2	+7.0
令和4年度	-8	-2.4

全国学力・学習状況調査の結果分析と今後の取組

◎…各学校 ◇…中学校区

調査項目	重点課題	改善の方策	検証
<p>国語</p> <p>本校 <u>67.0%</u> 全国 <u>58.1%</u> 県 <u>58.0%</u></p>	<p>◎話し合いの中で、意見と事実の違い、具体例と根拠の違いなど、情報と情報の関係を正しく捉え、理解することに課題がある。(設問1三)【情報の扱い方に関する事項】(正答率30.0%, 全国平均との差-14.0)</p> <p>◇話し合いの場で、意図に応じて話題を決め、伝え合う内容を検討したり、意見と事実、具体例と根拠の違いを正しく理解して情報を整理したりするなど、自分の考えが伝わりやすいように表現する力に課題がある。</p>	<p>◎話し合いの際に意見とそれを支える根拠がどのように結び付いているかを捉えたり、整理したりすることができるよう、話し合いをまとめたり、発言を振り返ったりする学習活動を取り入れる。また、説明的文章を読んだり書いたりする活動で、意見と根拠など情報と情報の関係を捉えることができるよう指導する。</p> <p>◇話し合いの際に、自分の考えが伝わるように資料の順番や提示の仕方等を検討する場や、意見と根拠など情報の関係を正しく捉えているかを整理する振り返りの場を設定する。</p>	<p>◎全国学力(設問1三)の類似問題(第3学年, 2月)目標50%→100%</p> <p>全国学力(設問1三)(第2学年, 2月)目標50%→70%</p> <p>◇全国学力(設問1)【話すこと・聞くこと】(5, 8学年, 2月)目標70%→65.7%</p>
<p>数学</p> <p>本校 <u>63.0%</u> 全国 <u>52.5%</u> 県 <u>52.0%</u></p>	<p>◎図形の分野において、三角形の合同を基にして図形の性質を証明することに課題がある。筋道を立てて考え証明する力が不十分である。(大問9(1))【図形】(正答率20.0, 全国平均との差-5.8)</p> <p>◇平面図形、空間図形の性質において、筋道を立てて考え、体積の求め方を立式したり、図形の性質を証明したりすることに課題がある。</p>	<p>◎三角形の合同条件や相似条件を使って図形の性質を証明する活動を行う。「対頂角」、「平行線の同位角」など、数学的な用語を用いて的確に説明できるように指導する。</p> <p>◇具体物やコンピュータのシミュレーションなどを通して図形のイメージをもたせ、2つの図形の関係性や図形の性質を予想し、筋道を立てて問題を解決するように指導する。</p>	<p>◎全国学力(設問9)の類似問題(第3学年, 2月)目標40%→60%</p> <p>全国学力(設問9)(第2学年, 2月)目標40%→50%</p> <p>◇全国学力【図形】(8学年, 2月)目標50%→50%</p>

【来年度に向けて】

今後も学力調査等をもとに生徒の学習状況を把握し、個々の課題に応じた取組を行うとともに、「めいとく・トライ」を軸にした指導方法の改善に努め、課題の解決を図る。また、調査対象教科で明らかになった課題については、課題が関連するその他の教科等の中でも取り組み、課題解決に向けて組織的な取組を進める。